

指定番号 6 ひさやまかん いしがき
久山館 (石垣)

所在地	戸隠中社
建築年代	江戸初期
建築概要	全長約120m 高さ約3.0m 打込み接 <small>はぎ</small>
特徴等	<p>久山館は、戸隠神社の宿坊の一つであるが、江戸時代には戸隠山<small>けんこうじ</small>頭光寺の本坊勸修院として一山を統括する別当職にあった。戸隠神社中社境内の西側に位置し、戸隠神領一千石のうち、五百石を領していただけに広大な敷地をもつ。昭和17年（1942）の火災により敷地内にあった客殿、庫裏等の建築物は焼失してしまったが、現在も残る回遊式の庭園や長大な石垣、守護不入之碑等に往時の権勢を窺うことができる。</p> <p>石垣は、敷地南側に東西約120mにわたって築かれたもので、高さは約3mもあり、城郭を思わせる壮大な景観を有している。地元の石材を使用しているとされ、近世の戸隠を代表する工作物として貴重な遺構である。</p>
備考	打込み接～石垣積み形式の一つで、積石の角を少々叩き、石の合端が幾らかかみ合うように側面を整えた積み方。近世城郭の石垣に多く見られる形式。



久山館 案内図 S=1:5,000



写真1 石垣外観（南東から）



写真2 石垣外観（南から）



歴史的風致形成建造物指定範囲



公開範囲（午前9時から午後4時まで）

久山館 配置図 S=1:1,000